

「みんなで高めよう、わが町の防災・減災作戦」 @伊井区自主防災組織

伊井区福祉データ

2023年	伊井区	あわら市全体
高齢化率	36.4%	34.7%
高齢者を含む世帯割合	81.5%	61.4%



○高齢化率、高齢者を含む世帯割合で、あわら市全体を上回る。
○地震防災マップでは大きな揺れが予想される。
➡防災・減災のためには、住民一人一人が当事者意識をもち、自ら「つながり」をつくり、「ひろがり」をつくる主体となって行動していく必要がある。
そこで、我が地区では福祉委員会と協働し、4つの取組を実施した。

↓作成した福祉マップ



- その1 地区防災学習と災害時要援護者支援（地域支援者による安否確認）
- その2 あわら市総合防災訓練（住民避難訓練、本部設置訓練、防災資機材点検）
- その3 見守り防災マップ図上訓練（福祉マップを活用した見守り防災マップ作成）
- その4 夏休みだ！親子防災キャンプ（親子で救命救急体験）



その1 地区防災学習と災害時要援護者支援

↓地区防災学習



↓地域支援者による災害時要援護者の安否確認



〔伊井区自主防災組織の活動〕

- ・2016年9月 地区防災学習
- ・2018年～2022年11月
あわら市総合防災訓練に
合わせて、災害時要援護者の
安否確認
- ・2019年1月 地区防災学習
- ・2021年9月 地区防災学習
- ・2022年11月第1回防災学級
- ・2022年11月 住民避難訓練
本部設置訓練
防災資機材点検
- ・2023年7月 第2回防災学級

その3 見守り防災マップ図上訓練

↓第1回防災学級（見守り防災マップ作成）



その2 あわら市総合防災訓練

↓ハザードマップ確認



↓本部設置訓練



↓防災資機材点検



その4 夏休みだ！親子防災キャンプ

↓第2回防災学級（親子で救命救急体験・防災かるた）



○わが町の防災・減災活動の特徴は、**自主防災組織と福祉委員会の協働**にある。福祉委員会による防災学習や災害を想定した災害時要援護者支援をきっかけとして、地区における災害リスクを知ること、助け合いの避難のあり方を学ぶこと、子どもたちも一緒に防災や減災を体験すること等、今までテーマを持って子どもから高齢者まで**一人一人が地区防災の意識を高める**ことに取り組んできた。

○地区防災計画は、地区に住む子どもから高齢者まで一人一人の意識が高まることで実現できるものである。これまでの取り組みの集大成として、**「みんなで考える地区防災計画」**に取り組んでいきたい。今後、**個別支援計画も視野に**活発な自主防災・減災計画を展開していきたい。

北潟女性防災クラブ活動報告

北潟地区避難施設運営マニュアル作成について

わたしたちは、より地域に密着した活動を目指し、「あわら市女性防火クラブ北潟支部」から「北潟女性防災クラブ」へと形を変え、新たな活動を開始いたしました。

北潟地区での活動を中心に、災害に備えた活動をと考えて、避難施設の運営マニュアル作りに取り組むことといたしました。

なぜなら、様々な災害現場の状況等をみて、避難施設における女性目線・女性視点での運営や、女性スタッフの必要性を強く感じたからです。

1

北潟女性防災クラブ作成 避難施設運営マニュアルの概要

【point. 1】

女性視点で考えた専用スペース、スタッフ

- (1) 更衣室（女性更衣室兼授乳室、男性更衣室それぞれ別々に設置）
- (2) 仮設トイレ（女性専用、男性専用それぞれ別々に設置）
- (3) 女性専用物干し場の設置、外洗い場の設置
- (4) 炊き出し室・食料物資保管庫の設置
- (5) 男女共同参画（運営委員会への女性スタッフの参加→衛生班設置など）

※ 様式：北潟小学校避難所運営委員会組織構成表

【様式-1】組織構成表									
役 名	北潟地区避難所運営委員会（内閣を適宜して必要に応じて増減する。）								
総 務 長	北潟地区避難所運営委員会（1名）			北潟地区避難所運営委員会（1名）			北潟地区避難所運営委員会（1名）		
行 務 員	総 務 員（1名）			総 務 員（1名）			総 務 員（1名）		
	総 務 員（1名）			総 務 員（1名）			総 務 員（1名）		
活動班	総務班	衛生班	炊き出し班	物資班	ボランティア班	防災班	食料・物資班	衛生班	その他
班 長	班 長	班 長	班 長	班 長	班 長	班 長	班 長	班 長	班 長

北潟女性防災クラブ作成 避難施設運営マニュアルの概要

【point. 2】

避難所における避難通路の確立

避難所とはいえ、地震や火災、その他考えられないような事件・事故が起こるかもしれません。レイアウト図には、避難者が安全に避難できるための避難通路を設けています。

※体育館居住エリア間の「通路兼避難通路」、「非常口の明示（→）」など

【point. 3】

災害規模に応じた避難所運営

避難所レイアウトは、災害の規模によって避難してくる人数が変化します。例えば少人数の避難者（50人程度）なら体育館周辺のみを利用するなど、災害規模に応じた避難所運営も考慮しました。

3

北海道（北潟小学校）避難所運営レイアウト図

※北潟女性防災クラブ作成



4



～避難施設運営マニュアル作成に至るまでの流れ（抜粋）～

- 消防署による避難所での簡易トイレ作り
- 区長会と合同で、避難所（北潟小学校）視察、防災倉庫視察 など



防災研修会（第1回、第2回）座学

講師： 防災士 青木悟 様

- 第1回 令和3年10月10日開催（27名参加）
防災意識高揚 ※災害をよく知り、危機意識を持つ
テーマ「自分は大丈夫、自分たちの地域は大丈夫と思っていませんか」
- 第2回 令和3年11月14日開催（19名参加）
避難所運営事例紹介とマニュアル作成について
テーマ「避難所運営は避難者の手で」

防災研修会（第3回） 避難所ジオラマワークショップ

講師： 防災士 青木悟 様

- 第3回 令和4年7月17日開催（20名参加）
テーマ「北潟地区の避難施設（小学校）のジオラマにてレイアウトを考える」





避難所ジオラマ写真（一例）

9

防災研修会（第4回）マニュアル完成

講師：防災士 青木悟 様

10

・第4回 令和4年11月19日開催

北潟地区避難施設（北潟小学校）

運営マニュアル作成

※詳細内容確認すり合わせ～完成まで



11

令和5年4月15日 北潟女性防災クラブ総会（区長、議員列席） 全クラブ会員へ内容周知

12



※私たちの活動が地域に理解され、今後実用化していく予定です

松岡御陵地区防災訓練(松岡御陵自主防災組織連絡協議会)

◇訓練概要

訓練日：令和5年6月18日(日) 午前7時 ～ 午前9時

災害想定：風水害での警戒レベル4相当

内容：午前7時のサイレン吹鳴で訓練を開始。初めに区民は、班ごとに安否確認(無事旗の確認)をした後、区内の一時避難場所に集合してから指定避難所である松岡御陵農業構造改善センターに避難。移動後は、会場内を5つに分け訓練等を実施する。

(全体) 避難訓練(安否確認)

① 心肺蘇生法訓練

② 火災時避難訓練として濃煙体験

③ ドローン操作体験

④ 土のう作成、積み方訓練

⑤ 避難所資機材組立て等



◇地区の特徴と訓練内容

当御陵地区は九頭竜川の右岸に位置し、洪水ハザードマップでは全域が浸水区域内で、コロナ禍に関係なく毎年この時期に防災訓練を実施している。今年度は訓練のマンネリ化を防ぐため、別の避難所を変更した。また、訓練内容も消防職員や地元消防団の協力を得て応急手当の心肺蘇生法や土のう作成、積み方に変更。その外にも当協議会と災害協定を結んでいる日本商運(株)からドローンの操作を学ぶなど住民体験型訓練を行いました。

◇訓練の成果

当日は、約280名の参集があり、訓練では自分自身や家族、区民全体の安全を確認した後、「来て・見て・体験できる」住民体験型の訓練を推進し、自身ができる防災活動が強化され、地域の防災力の向上が図られた。



浅見区 防災訓練 (浅見自主防災会)

【概 要】

日時：2023年7月29日（土） 7:00～8:30

防災訓練内容：避難訓練（安否確認）

土のう作り及び設置訓練

地下式消火栓の使い方

ホースの片づけ方



安否確認



土のう作り



地下式消火栓操作

【目 的】

昨今、災害が起されば、自助・共助・公助が当たり前の様に言われていますが、共助（地域内での助け合い）として自主防災会を中心に、区民の初動体制を確認した。特に、今年度は災害後に火災が発生した場合の初期消火活動として、地下式消火栓からの放水訓練も実施し、区民の連帯感を図る。

【活動内容】

- 今回の訓練では、41世帯中34世帯で62名の参加がありました。当区では日中は若い人は仕事で不在となり、残っている高齢者に万が一の活動が求められます。
- 訓練開始後、落ち着いて家族の安否を確認し無事旗を玄関先に掲げ、センターに集合。班長は班毎に安否確認を行い、区長に報告し初動の避難訓練とした。
- 永平寺町消防職員を講師に、土のう作りや積み方を実践をした後、地下式消火栓について区民のみんなと体験訓練を行いました。地下式消火栓の使用方法やホースの連結、脱着など区民からの興味深い意見や質問がたくさんありました。

【成果と展望】

- 避難行動訓練を通して多くのことを知ることができ、区民の防災の意識が高まったと思います。
- これからも「自分の身は自分で守る」「自分たちの地域はみんなで守る」を合言葉に、より現実的な災害に直結した防災訓練を行い、区民一人一人の防災に対する意識向上に努めていきたいと思っています。

福井出身、地震学世界の権威
大森房吉 信念に

若狭町防災士の会（活動報告）

■若狭町防災士の会

若狭町防災士の会は、若狭町に在住又は在勤の防災士が、ネットワークを構築しより研鑽を深め、有する知識を活かし、若狭町民の安心・安全を高めるために活動することを目的として、令和3年3月に発足した。

令和5年4月時点では、42名の会員が在籍し、様々な活動を行っている。

●活動内容（令和4年度実績）

- ①関西電力（株）美浜発電所の見学会
- ②小型建設機械技能講習会の開催
- ③防災士、資格取得へのPR活動
- ④若狭町防災訓練への協力
- ⑤若狭町ハート＆アートフェスタへの出展
- ⑥小浜市防災士の会との交流講習会の参加
- ⑦陸上自衛隊今津駐屯との炊き出し訓練見学会

●活動の成果

会員自ら企画・立案・運営を行い、会員自身の意識向上を図っている。また、会員だけではなく、地域の防災関係者等にも各活動への参加を呼び掛けるなど、住民に対する啓発活動も行っている。

令和5年度も、各活動の企画・立案を行っており、昨年度以上の活動及び成果が期待される。

②小型建設車両機械資格取得講習会

コマツ教習所の出張講習会開催により、小型建設車両機械（整地）の資格取得講習会を実施。



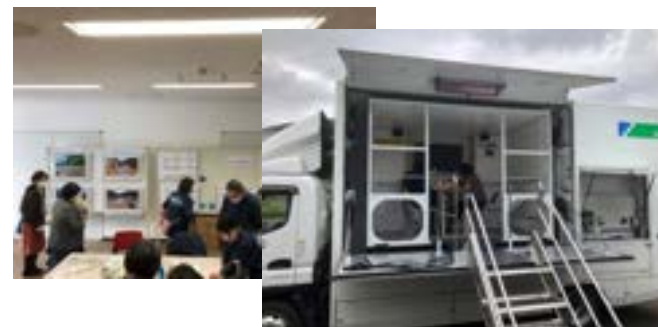
④若狭町防災訓練

町の防災訓練に参加協力し、町職員と一緒に各地区の避難場所の設営訓練を実施。



⑤ハート＆アートフェスタ

パレア若狭で行われた、『ハート＆アートフェスタ』に出展し、防災士の会の活動の紹介と防災についてのPRを体験や展示で実施。



「もしも」の災害に備えて地域防災マップを作成 開発地区自主防災会

開発では、大雨や地震が発生した時などに備えて地域防災マップを作成しました。
作成するにあたって、事前学習、まち歩き、地域防災マップの作成を地区の全世帯から
一人ずつ集まり実施しました。



防災士による地域防災
マップ作成に関する説明
会の実施。



まち歩きで地区内の危険
箇所を確認。昔冠水した
場所の情報共有も実施。



地域防災マップの作成で
は、まち歩きで気が付い
たことや昔起きた被害に
ついて記入。

完成した地域防災マップ



災害に備えて地域防災マップを作成

中荒井二丁目自主防災会

中荒井二丁目は、大野市の下庄地区にあり、大野盆地の中央付近に位置する。住宅街には、善導寺川が流れ、最大想定降雨による浸水想定では、地区の大部分が1～3mの浸水の深さが想定される。そのことから、避難経路や危険箇所を事前に確認しておくことで、迅速な避難が可能となることから、「地域防災マップ」の作成を実施することとなった。



【勉強会を実施】

福井県防災士協会より防災を招いて事前勉強会を実施。



【まち歩きを実施】

防災士とまち歩きを実施。冠水時に危険となる場所や、ブロック塀や危険空き家など地震の際に危険な場所を確認。



【まち歩き結果取りまとめ】

まち歩きにより集めた情報を取りまとめて地域防災マップを作成。

完成した地域防災マップ



警戒レベル

5

緊急安全確保

※1

新たな避難情報等

さんきょう あんぜん かくほ

緊急安全確保

※1

これまでの避難情報等

災害発生情報
(発生を確認したときに発令)

避難指示(緊急)
避難勧告

避難準備・
高齢者等避難開始

大雨・洪水・高潮注意報
(気象庁)

早期注意情報
(気象庁)

〈警戒レベル4までに必ず避難!〉

4

避難指示

※2

3

高齢者等避難

※3

2

大雨・洪水・高潮注意報
(気象庁)

1

早期注意情報
(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ自らの行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

災害発生

避難時の服装

非常持出品はリュックで

ヘルメットや防災ずきん

手袋や軍手

長そで長ズボン

底の厚い丈夫なもの

ベクトはキャリーバックに

家族の安否確認

家屋等の点検
火の元確認!

非常持出品はリュックで
防災ずきん又はヘルメット
長そで・長ズボン・軍手
(ズック履きで避難)

一時避難
荒井公園

指定避難所
下庄公民館

非常の持ち出し品の備えを!

貴重品

非常食(3日分)

救急医薬品など

携帯ラジオ
懐中電灯
携帯電話
携帯充電器

衣服など